

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-97644(P2009-97644A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2007-270562(P2007-270562)

【国際特許分類】

F 1 6 C 33/56 (2006.01)

F 1 6 C 33/46 (2006.01)

F 0 4 B 39/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/56

F 1 6 C 33/46

F 0 4 B 39/00 1 0 3 J

F 0 4 B 39/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月20日(2010.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

内輪と、外輪と、前記内輪及び前記外輪の間に転動自在に配された複数の転動体と、前記内輪及び前記外輪の間に前記転動体を保持する保持器と、を備え、炭酸ガスを冷媒として使用するコンプレッサに組み込まれる転がり軸受において、

前記保持器は、ガラス転移温度が 80 以上である熱可塑性樹脂と強化繊維材とを含有する樹脂組成物で構成されており、前記強化繊維材の含有量は前記樹脂組成物の 15 質量 % 以上 45 質量 % 以下であることを特徴とする炭酸ガスコンプレッサ用転がり軸受。

【請求項 2】

前記樹脂組成物が熱安定剤を含有していないことを特徴とする請求項 1 に記載の炭酸ガスコンプレッサ用転がり軸受。

【請求項 3】

前記熱可塑性樹脂がポリフェニレンスルフィドであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の炭酸ガスコンプレッサ用転がり軸受。

【請求項 4】

前記熱可塑性樹脂がポリエーテルエーテルケトンであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の炭酸ガスコンプレッサ用転がり軸受。

【請求項 5】

前記熱可塑性樹脂が、PA6T/6I, PA6T/DT, PA9T, PA6T/M-5T のうちのいずれか 1 つであることを特徴とする請求項 1 に記載の炭酸ガスコンプレッサ用転がり軸受。